

御前崎市 地域医療を育む会

会報

第20号


令和8年4月

現在の会員数

一般203名 協賛13社

発行：御前崎市地域医療を育む会

TEL&FAX 0537-86-5095

ホームページ [御前崎市地域医療を育む会](#) 

会の目的

この会は、市民自らが、健康維持・増進を図るとともに地域医療に関する意識・理解を高めることにより、医療者等にとっても魅力のある地域とし、『地域医療の充実』および『安心した市民生活』に寄与することを目的とする。

今年度から、出前講座「ACP(人生会議)」「もしバナゲーム」を始めました。

第1回

日時 8月22日(金) 13時30分～15時00分

会場 池新田地区センター 2階会議室

内容 ・人生会議のお話
・「もしバナゲーム」で楽しく語りましょう

参加者 浜岡地区民生委員・児童委員の皆様 15名(スタッフ含む)



第2回

日時 11月13日(木) 19時00分～20時00分

会場 新野地区センター

内容 ・講話「人生会議について一緒に考えてみましょう！」
・「もしバナゲーム」で楽しく語りましょう

参加者 社会福祉協議会 新野支部福祉懇談会の皆様 30名(スタッフ含む)



第3回

日時 11月25日(火) 13時30分～15時30分

会場 市立御前崎総合病院 2階講堂

内容 ・御前崎市地域医療を育む会の活動紹介
・「もしバナゲーム」で楽しく語りましょう
・「人生会議」ノート 御前崎市未来ノートについて(地域包括支援センター)

参加者 市立御前崎総合病院・御前崎市総合保健福祉センター
ボランティアの会すずらんの皆様 16名(スタッフ含む)



第4回

日時 12月12日(金) 13時30分～15時00分

会場 女岩区コミュニティ防災センター

内容 ・体操(女岩区居場所)
・「もしバナゲーム」で楽しく語りましょう

参加者 女岩区居場所の皆様 24名(スタッフ含む)



出前講座へ参加いただいた皆様の感想

- ・終末について、イメージする機会となる。
- ・いろいろな考え方があり、考えさせられた。
- ・知らないことでしたので良かったです。
- ・自分の考えが整理できて良かった。
- ・考えると暗くなるような内容が、楽しく笑顔で話し合えるゲームがとても良かった。
- ・もしものことを考え、楽しいひとときでした。理想と現実のギャップを感じる。

◎出前講座「人生会議」「もしバナゲーム」に興味のある方、団体の皆様 ぜひ、お声掛けください！
皆様のご都合の良い時に、どこへでも出かけます。
気の合った仲間と、楽しく語り合いましょう。
お気軽にお声掛けください。

もしバナゲームとは、4人1組で「もしバナゲーム」のカードを使って「これからの暮らしで大切なこと」を考え、人生の最期という枠を超えて、一人ひとりが明日から人生をよりよく生きるための気づきや心づもりを楽しく語り合います。

お申込み・お問合せ先 御前崎市地域医療を育む会 電話090-5879-5495 FAX0537-86-5095(事務局 浅井まで)

8月7日(木)市立御前崎総合病院で、 病院職員の皆様と情報・意見交換を行いました。

意見交換会

- ・市立御前崎総合病院の機能について
- ・御前崎市地域医療を育む会の活動について
- ・病院と診療所での患者負担額について
- ・2025年問題を迎えて、訪問医療・看護体制について
- ・救急車の現場からの出発時間について
- ・看護師の充足について
- ・スマートホンなどを活用した待ち時間対策について

11月8日(土)佐倉地区センターで、 令和7年度 地域医療学習会を開催しました。



●講演 「人生会議 やってみませんか！」

人生会議について分かりやすくお話しする『もしも』の時に『私らしい』生き方を叶える、安心のヒント

講師 市立御前崎総合病院 副病院長兼看護部長

認定看護管理者 在宅看護専門看護師 堀井 直美 様

<医療の現場>「突然の事故」「突然の病気」「認知症」などで生命に危険が迫ると、約70%の方が医療やケアなどを自分で決めたり、望みの人に伝えることが出来なくなると言われています。

12月6日(土)市立御前崎総合病院 病院祭に参加、出展しました。

ご来場の皆様に、「会の活動紹介」「会員募集」
「医療スタッフへのメッセージ」をお預かりしました。



2月27日(金)市内の皆様からの医療機関あて「感謝のメッセージ」を 関係の病院、診療所へお届けしました。

「医療と介護の総合的な確保に向けたシンポジウム」、 「静岡県地域医療支援ネットワーク協議会研修会、意見交換会」を開催しました。

●令和7年度 医療と介護の総合的な確保に向けたシンポジウム

日時 11月1日(土) 13時30分～15時30分

場所 富士市交流プラザ 2階 多目的ホール

定員 会場参加 100人

(主催：県内の地域医療を支援する住民グループ、浜松医科大学、静岡県)

プログラム

●基調講演「持続可能な地域医療をめざして～かかりつけ医と在宅医療～」

トータルファミリーケア北西医院(富士市)

院長 北西 史直 様

●パネルディスカッション

「みんなで学び考えよう！地域の医療を守るために」

<パネリスト> トータルファミリーケア北西医院

院長 北西 史直 様

富士市保健部保健医療課

課長 渡邊 浩仁 様

富士市の地域医療を考える市民の会

会長 花城 久子 様

<コーディネーター> 浜松医科大学地域医療学講座

特任教授 吉野 篤人 様

<講師の北西史直先生のお話>

- ①2040年頃には65歳以上の人口が最高となり、多死社会が2060年頃まで続きます。
- ②支える側が減ると、社会は逆に脆弱になります。
- ③医療と介護の変革が求められます。
- ④かかりつけ医、救急、病院、介護施設すべてが密接に関わっています。
- ⑤その中で、在宅医療、人生会議のムーブメント(社会的な動き)が起きました。
- ⑥地域の住民、医療、介護、行政などの協働が求められています。



講師の北西史直先生のお話を要約した小冊子を作成しました。
ご希望の方は、当会の役員または事務局までご連絡ください。

●第25回 静岡県地域医療支援ネットワーク協議会研修会、意見交換会

日時 令和8年1月28日(水) 14時00分～16時00分

会場 掛川市美感ホール(掛川市亀の甲1丁目13番7号)

目的 静岡県の地域医療を育む活動を展開している団体が共に学習し、交流することによって、情報の共有や活動の活性化を図る。

第一部 講演「おかえり医療、ただいま地域」川東病院 院長 宮地 紘樹 様

<講話の一部> ① 医療は、専門的な場所だけで完結できる時代ではない。
専門職だけでなく、地域の人たちと一緒に作るもの。

② 最近のヘルスケアの変遷 場所…病院、施設 → 地域
視点…医療、介護 → 暮らし
手段…サービス → ささえあい

では何をしたらいいの?…… 医療は、病院や診察室の中だけにあるのではなく、生活の中にも存在していく必要がある。



第二部 行政説明「静岡県の医療提供体制の概要」静岡県健康福祉部医療局医療政策課

県政さわやかタウンミーティング 意見交換会

- ・静岡県の医療政策の全体像と今後の方向性について
- ・医師の偏在について
- ・医師以外の人材確保について
- ・地域医療を担う病院への支援について
- ・医療の適正利用と投薬(残薬)に関する課題について
- ・地域包括ケアの推進について
- ・在宅医療と訪問診療について
- ・ACP(人生会議)普及啓発事業の活動団体について

その他の講演会・学習会等への参加

●静岡県看護協会中東遠地区支部 地域医療講演会 ～地域共生社会の実現に向けて～

4月12日(土) 磐田市アミューズ豊岡 ゆやホール

●しろわカフェ

6月19日(木) 講話「知ってトクする熱中症対策 ～暑い夏に備えよう!～」

9月18日(木) 講話「家庭医療のかかり方 しろわクリニックって何をみしてくれるの? どんな時いけばいいの?」

●島田市地域医療講演会『落語で学ぼう!! 地域医療と人生会議』

9月13日(土) 島田市プラザおおるり 落語「落語で学ぼう!! 地域医療と人生会議」

●人生会議ファシリテーター養成講座

1月18日(日) エルおおさか本館5階 講義「今なぜACPなのか」、
もしバナゲーム体験、ロールプレー「ACP導入実践」

●地域医療シンポジウムInかけがわ

2月7日(土) 掛川市文化会館シオーネ 人生会議啓発劇「おじいちゃんの願いをつなぐ物語」
トークセッション「これからの暮らし、もしものときも自分らしく」

●第32回 御前崎市民公開講座

2月15日(日) 講演①「変形性膝関節炎 ～リハビリから手術まで～」
講演②「今日からできる!～自宅でできるセルフエクササイズ～」

●災害時避難所運営研修会(小笠医師会)

2月26日(木) 掛川市徳育保健センター
講演「南海トラフ地震時の避難所運営について 避難者のトリアージを含めて」

●女性の健康講演会

3月7日(土) 池新田地区センター
講演①「女性のライフステージに寄り添う」
講演②「女性疾患としての手指の変形性関節炎と、エクオール作用(当院での治療を含めて)」

●退任記念最終講義 浜松医科大学地域医療学講座 吉野 篤人 特任教授「流れのままに」

3月23日(月) 浜松医科大学医学部附属病院 多目的ホール ①最終講義、②かたろう会

病院に行く？ 救急車を呼ぶ？

けがや病気で迷ったら相談!

主なアドバイス内容

- けがや病気の緊急度、対応方法
- 受診できる医療機関の案内
- 救急車の利用の案内
- その他の相談窓口の紹介

救急安心電話相談

#7119

対象者 おおむね 15歳以上

開設時間 24時間 365日

利用方法 「#」を押して「7199」

#7119 は県と各市町の負担により運営しています。

静岡こども救急電話相談

#8000

対象者 おおむね 15歳未満

開設時間 24時間 365日

利用方法 「#」を押して「8000」



※静岡県広報誌「県民だより防災特集—しずおか防災だより—」2025年3月号より

御前崎市地域医療を育む会紹介、会員募集

御前崎市地域医療を育む会の紹介

□発足 2013年4月

□主な活動

- 市立御前崎総合病院での感謝のメッセージの掲示
- 5つの“か”出前講座、講演会の開催
- 地域医療シンポジウム、医療と介護のシンポジウムの開催
- 市関係課と医療・福祉・健康に関する講座の共催
- 小・中学生の医療見学体験講座の開催
- 市立御前崎総合病院の病院祭への参加
- 御前崎市地域医療を育む会会報の発行



なままら・ふらふら 御前崎市

私たちの活動の特長



なままら・ふらふら 御前崎市

特長1 地域医療を育む主人公の一人になる

主人公になる

特長2 みんなでネットワークをつくる

つながる

特長3 地域医療を育む心を次代に伝える

つなぐ

特長1 主人公になる



なままら・ふらふら 御前崎市

□四人の主人公の一人として活動

- 「ありがとう」を医療スタッフへ伝えていきます
- 住民を対象とする出前講座を開催しています

※四人の主人公

- ① 医療機関
- ② 教育機関
- ③ 行政・議会
- ④ 住民



医療スタッフへの感謝状



出前講座での説明風景

特長2 つながる



なままら・ふらふら 御前崎市

□住民を対象とする地域医療シンポジウムを共催

- 毎年、県内の仲間グループと共同で開催しています



2019年度地域医療シンポジウム

特長3 つなぐ



なままら・ふらふら 御前崎市

□小・中学生を対象とする「育む場」事業を展開

- 市内の小・中学生を対象にし、次世代の地域医療を担う人材を育む体験講座を開催しています



小・中学生を対象に医療職の体験講座を市立御前崎総合病院と共催

良かったら仲間になってください

- 会員募集中！ お待ちしています！
- 地域医療について一緒に勉強したり、考えたりしてみませんか？
- 関心のある方、是非仲間になって一緒に活動しましょう！
- 会費 年額 500円 地域医療を育む活動に活用します
- 入会をご希望の方は、事務局へご連絡ください

事務局 浅井義幸

☎ 0537-86-5095



なままら・ふらふら 御前崎市

協賛会員の皆様

中部電力(株)、(株)フェイス、共栄企業(株)、(株)松本印刷、(株)増田組、いそがせ、おはな助産院、タクミ建設(株)、タクミ企画(株)、静岡銀行御前崎中央支店、遠州夢咲農業協同組合、島田掛川信用金庫、社会福祉法人賛育会 東海清風園 (順不同・敬称略)